

2016年度  
学校関係者評価委員会  
報告書



学校法人 大和学園  
京都製菓技術専門学校

## I. 学校関係者評価委員会の目的

委員会は、本校が経営の現状と課題について適切に把握し、教育活動その他学校運営の改善を的確に行おうとしているかについて、自己評価の結果に基づき客観的に評価することを目的とする。(京都製菓技術専門学校 学校関係者評価委員会規則 第2条)

## II. 2016年度 学校関係者評価委員会 開催概要

1. 日 時 2016年 8月 3日(水) 13時20分～14時30分
2. 会 場 京都調理師専門学校 アネックス会議室
3. 出席者 <学校運営や教育に関する有識者>  
委員長 楠井 秀和 様(学校法人大和学園 評議員)  
<企業等の役員または職員>  
委 員 渡邊 登 様(有限会社五感 執行役員)  
委 員 長岡 末治 様(株式会社デリチユース 代表取締役)  
委 員 細田 実 様(株式会社オーボンパン ビゴの店 代表取締役)  
委 員 塩貝 祥代 様(株式会社老松 嵐山店 店長)  
<本校卒業生>  
委 員 野村 麻記 様(京都製菓技術専門学校 卒業生)  
<委員会事務局>  
事務局 鮫島 孝宏 (京都製菓技術専門学校 校長)  
事務局 奥村 知史 (京都製菓技術専門学校 教務部長)  
事務局 小山 美幸 (京都製菓技術専門学校 教務部)
4. 議 事  
I. 自己評価結果について  
(1) 教育理念・目標 (2) 学校運営 (3) 教育活動 (4) 学修成果  
(5) 学生支援 (6) 教育環境 (7) 学生の受入募集 (8) 財務  
(9) 法令等の遵守 (10) 社会貢献・地域貢献 (11) 国際交流  
  
II. 自己評価結果の学校関係者による評価について  
(1) 教育理念・目標 (2) 学校運営 (3) 教育活動 (4) 学修成果  
(5) 学生支援 (6) 教育環境 (7) 学生の受入募集 (8) 財務  
(9) 法令等の遵守 (10) 社会貢献・地域貢献 (11) 国際交流

### Ⅲ. 評価委員からの評価および意見

評価委員からの評価および意見		評価委員からの意見に対する対応および改善方策
評価項目	(1) 教育理念・目標 (2) 学校運営 (3) 教育活動	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育目標はよくできており、実践に繋げていただきたい。</li> <li>・学校での設備環境が整いすぎていると、現場でギャップを感じることもあるため、その部分も学生に説明いただきたい。</li> <li>・離職率を低減させるよう、自発的なコミュニケーション能力やストレス耐性の強化に向けた教育にもさらに力を入れていただきたい。</li> <li>・研修で学生を受け入れた際、熱心に質問され卒業後が期待できる場面に遭遇する。日頃の教育の成果だと思われるため、今後もこのような学生を育ててほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体系化した理念のもとで、今後も、適正な学校運営を継続するとともに、2016年度より新しく策定した3ポリシーを周知し、ポリシーに則り、明確な指針を持って学科運営を行う。</li> <li>・安易な離職を防ぐよう、就職後のイメージを醸成させる取り組みを行い、ストレス耐性の強化や就職後のギャップの軽減をはかる。</li> <li>・今後も学校関係者評価委員、教育課程編成委員のみならず、さまざまな方のご意見を踏まえカリキュラムを編成し、意識の高い学生を育成する。</li> </ul>
評価委員からの評価および意見		評価委員からの意見に対する対応および改善方策
評価項目	(4) 学修成果	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「教職員全員で学生を見守る」という姿勢をこれからも継続し退学を防止して欲しいが、居心地が良いだけでなく、厳しさも教えていただきたい。社会では人のために動くことができる力や嫌なことでも引き受ける力のある人が求められている。</li> <li>・衛生管理や材料の特性等は座学授業が中心になるが、実習中に知識が伝えられるとさらに理解が深まると感じられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神的な事情による退学も多いため、スクールカウンセラーによるカウンセリングの利用を積極的に勧める。また、校外実習やインターンシップも活用し、学生が事業所で必要とされる力を確認できるようサポートをおこなう。</li> <li>・コアメニュー等の作成頻度が高いメニューの説明を講師がブラッシュアップさせ、衛生面、知識面での指導力も高める。</li> </ul>

評価委員からの評価および意見		評価委員からの意見に対する対応および改善方策
評価項目	(5) 学生支援 (6) 教育環境	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 給付型の奨学金がさらに充実するとのぞましい。校外実習についても有給制や交通費の助成を検討されてはどうか。</li> <li>・ 人材育成の考え方にズレがないよう、学校と事業所が一丸となり考える必要がある。</li> <li>・ 専門学校を卒業せずに就職した学生が学べる機会も必要かと思われる。</li> <li>・ 再就職希望者に対するサポートを充実させると、事業所としては大変ありがたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 私立専修学校専門課程修学支援実証研究事業等も活用し、奨学金の充実をはかる。</li> <li>・ 講師招聘、校外実習、研修会等で事業所の方々とのコミュニケーションを充実させ、ご意見を頂戴する。</li> <li>・ 働きながら学びやすい、通信課程を設置しているため活用を促進したい。</li> <li>・ 同窓会報、OBOGサイトを活用し、さらに再就職エントリーを充実させる。</li> </ul>
評価委員からの評価および意見		評価委員からの意見に対する対応および改善方策
評価項目	(7) 学生の受入れ募集 (8) 財務 (9) 法令等の遵守 (10) 社会貢献・地域貢献	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多くの出願者がおられるため、入試で良い人材を厳選いただきたい。</li> <li>・ 同窓会記念パーティーで卒業生対象のコンテストを開催し、入学希望者にも開放することで、学校の魅力創出や入学後のイメージ醸成に役立つのではないかと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後も厳正公正な入試運営を継続する。</li> <li>・ 同窓会記念パーティーに向けて、内容を検討したい。</li> </ul>
評価委員からの評価および意見		評価委員からの意見に対する対応および改善方策
評価項目	(11) 国際交流	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関係機関を巻き込んだ動きが必要となるが、留学生の就労が可能なシステムを構築いただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 留学生を取り巻く環境は、今後も変化すると思われるため、就労に関する情報等もしっかり情報収集をおこなっていききたい。</li> </ul>